

(第80回企画展示)

# 新収蔵品展

2階  
酒田の歴史と民俗資料

開催期間 平成6年4月21日(木)～平成6年5月22日(日)

開催時間 午前9時～午後4時30分

休館日 無休

入場料 大人 100円・児童生徒 50円  
65歳以上の方と身体障害者の方は無料です。

## 酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL (0234)24-6544



南蛮船団 (絵馬)

## ——開催にあたって——

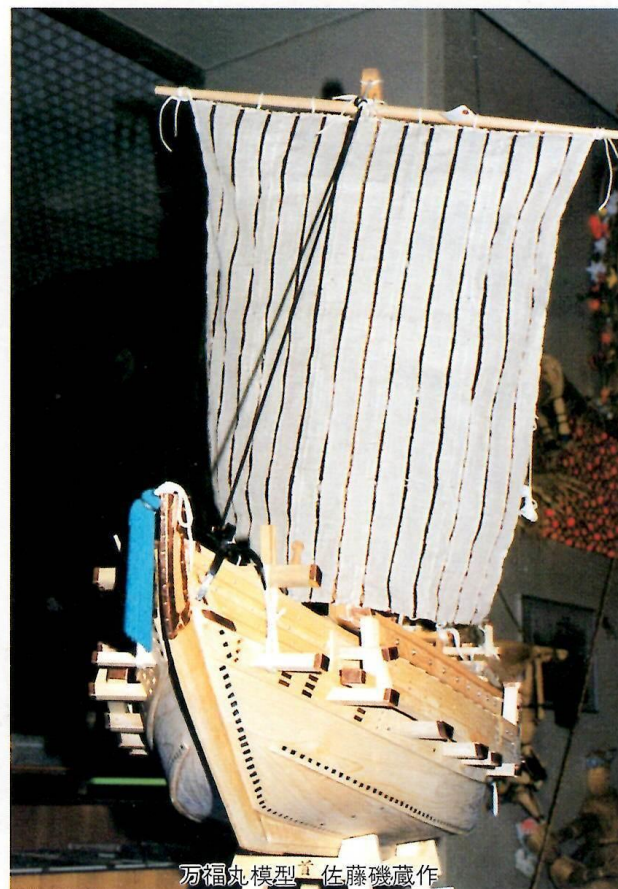
伝統文化の香り漂う中に酒田商人のたくましが象徴されている各種展示も、80回を迎えることになりました。

今回は、平成3年から5年までの間に寄贈されたものや、購入したものを紹介します。

大正時代のカメラや酒田の絵師が描いた江戸時代の屏風絵などのほかに、目玉ともいえる、天保年間の紅花輸送船「万福丸」の模型があります。これは、紅花を満載して酒田と敦賀を往復していた廻船を偲ばせるものであり、勇壮な酒田びとを思わせるのに好適といえるでしょう。この廻船は、山形で発見された船板図をもとに半年がかりで復元されました。関係の皆様のご苦勞に感謝申し上げます。

「新収蔵品展」と題した今回の展示物の一品一品にも、やはり、収蔵しておられた方々の思いや温かさが感じられるものであり、また作られた先人の生活感情や技術、生きぬいて来た時代背景や環境がにじみ出ていると言っていいでしょう。

大切な所蔵品をご寄贈下さった皆様に心からの御礼を申し上げ、春の一刻、鑑賞させていただくことにします。



万福丸模型 佐藤磯蔵作

—まぼろしの  
「酒田紅花船」—  
山形城下の紅花  
商人、村居家の  
廻船で最上の紅  
花を積んで酒田  
—敦賀を往来し  
ていた北国船。